

1. 序 論

事実を正確に記録保全して後世に伝え、その事実を分析することによってそれより教訓をまがしより立派な社会を建設し過去におこった過誤を犯さないようにするが、厂史を研究する重要な目的であると思われる。それが故に厂史家達は政治、経済、社会、文化等各方面に於てその研究を發展させました。

韓國の橋梁史はたいたい 1900年を前右して 2つの期間に大別することが出来る。即ち、その以前には純粹なる韓國の橋梁であるが規模が多々小さいがその以後は西洋文物の伝来と共に特に植民地政策の下において橋梁が架設されたのが多い。先づ連つた遺産が正確な記録もなしに消えて行くのを坐視してばかりいるわけにも行かず、古くも体系的な資料蒐集と研究によって現世に役立ち後世に伝えるべきと思ったのである。そこで扱っているのは韓國(南韓)に現存している橋梁を中心に調査・分析したものである。

2. 李朝時代以前の橋梁

韓國では古い文献に三国史記、三国遺史等がある。それらの記録によると韓國に最初に架設された橋梁は平壤州大橋(AD413 約 1585年前)であるがその位置、大きさは知ることができないが文章から見て大規模の工事であったことは知ることが出来る。特に古代橋梁は今はその形態又は位置を詳細に知ることはできないが、伝えられている説話、伝説などに、より大体的見當がつくにはすぎない。三国遺史によると新羅時代(AD. 654年)に築造された慶州佛国寺境内にある青雲橋、白雲橋、蓮華橋、七宝橋は約 1300年前に造られ現在もその完全な形態をもつてむしろ佛教的な立場で架設された、即ち、佛心の表現であり佛様の国、佛国に至る通路であるという意味を持っている。俗世で 33個の石階段を通して歡喜の世界、西方淨土に到達すると言う意味を持っている。石階段 33個は佛教の 33天を現はしている。

2-1. 三国時代の橋梁

青雲橋、白雲橋(AD. 8世紀)

佛国寺には正面に美しい 1対の橋たちがかかっている。そのうちの 1つが青雲橋、白雲橋(国宝 23号)であり、他の 1つが蓮華橋、七宝橋(国宝 22号)である。それらは現存する新羅の橋としては唯一に完全な形態に残っていて韓國では年代が一番古い橋梁である。階段は花崗岩長石(矩形断面石板)を敷き両側の欄干は円形断面の石でつくられている。階段の通路は 3部分に分けられている。矩形断面の石の柱で支持されているアーチは半月形に U字を逆にしたようになっている。これらアーチは韓國の城門とか石橋アーチの起源であるようである。

青雲橋と白雲橋は佛国寺と共に 眞德王朝(AD. 751-774)時代に金大成によって建設された。アーチの支間は 2.65m 幅員 5.9m でアーチリブは、13個の石で構成されている。

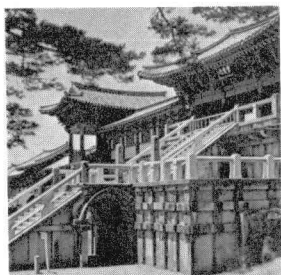


Fig.1. 青雲橋・白雲橋

2-2. 高麗時代の橋梁

釜山橋は高麗時代の代表的な橋で開城にある。単純な桁橋であり此の形式では世界で一番古いのではないかとと思われる。

古幕橋(1274年架設)は梁山江の支流に架設され、この印象を興えるが南韓で探せる唯一の高麗時代の橋である。此の橋は簡潔な石柱の上に路面を敷いた単純な桁橋である。厂史の記録によると元宗 11年(AD. 1274年)に古幕大師によって架設されたといわれる。此の橋は橋脚を橋軸方向に 3列、これに直角方向に 5列、石柱を立、その柱の上に四角の大きな石を置き、その上に石板を敷いて橋面を仕上げてある。石柱は表面仕上げもなく大きさもまちまちで統一性がないようである。橋の長さ約 20m、幅約

3.5mであり今でも村の人々が交通路として利用している。橋脚の沈没を防ぐために橋脚を原状として川上に約20m、川下に約20m位大きな石を川床に敷いてある。

3. 李朝時代 (AD. 14世紀) 橋梁の特性

箭串橋 此の橋は Seoul/ 郊外 漢江の支流にかかっている。此の橋は欄干も装飾も無しに今は人々に見捨てられているが李朝時代には一番長い橋であったし史跡160号に指定されている。世宗即位2年(1420年)世宗は上王、太宗のためにここに橋を置くことを決定し領議政(首相)柳廷顕と当時最高の土木技術者工曹判書(建設大臣)朴子青に命じ直接工事を監督するようにした。しかし川幅が広くて頻繁な洪水のため計画通り工事を進めることができず橋脚だけを立て中断してしました。その後63年の歳月が流れて成宗9年(AD. 1483)に完成された。完成当時の橋の長さは28mで幅員が6mであった。此の橋は桁橋であり河床に巨大な石柱を立てその上に横桁を配置しその上に主桁を並び主桁と主桁の間に石板を橋軸に直角方向に並び橋床をつくったのである。これは近代橋梁構造と殆んど同じ形式である。

水標橋 此の橋は花崗岩で作られた単純桁橋である。橋脚は四角と六角形の大きな石材を2段に重ね9径向を橋軸方向に5列に並び主桁を5列並び主桁と主桁の間に石板を主桁と直角方向に並び橋床としている。水標橋は清溪川に架設されている7個の橋のうち一番立派な桁橋であり現存唯一の橋である。水位をいつでも測れるように橋の前方の河床に石柱を立てそれに目盛をつけ水位を測りまた河床の高さを橋脚に表示し水深の基準とした。

4. 結 び

現存する橋梁を中心に調べて見ると構造形式からは85%がアーチ橋であり、残りは単純な桁橋であった。橋梁建設趣旨と築造上の特徴を中心に大別すると宮中に架設した橋、寺刹に架設した橋、城廓に架設した橋、民間人の交通のための橋等である。

(1) 宮中橋梁の特性

- ① 威厳と権威を高める為に華やかな彫刻と装飾をほどこした。
- ② 橋幅が広く、路面は3段に区分され中央部は国王の通路であり両側は臣下の通路とした。
- ③ 宮中の災殃を避けるために石獸とか鬼面を設置した。

(2) 寺刹に架設された橋梁

- ① 佛様の世界に通ずるためには橋を渡らなければならないと云う宗教的な意義があった。
- ② 佛教で云われている現世において3つの功德中の一つである橋梁を架設して萬人に便利をはかる云う佛心から僧侶達が多く橋を架設した。

(3) 城廓に架設された橋梁

- ① 城廓では大部分アーチからなる城門である。
- ② 城廓内の河水排水を目的とする水門を兼ねた橋梁が架設された。

(4) 民間人の交通のための橋梁

- ① 都市としての面影をという為に河川工事と道路工事と共に橋梁を架設した。
- ② 水位の測定とか海に接した地域では水門の役割をかねて橋梁が架設された。
- ③ 橋梁の上で祭祀又は踏橋行事等をする事によって1年間の幸運を祈ると云う民俗的な意義があった。

以上は韓国内の古い橋のうち代表的なものを対象に調べたものである。